

科目名	音声病理学	形態	講義	開講期	秋学期
担当教員	久野 佳也夫	単位	2	年次	2

＝授業科目の目標＝

発声指導に必要な障害に関する基礎的知識の修得。良い発声をおこなうための事前準備のうち、身体調整を有効におこなうために必要な問題を説明する。自ら発声する際の問題でもあるが、指導者にとっては更に必要な知識である。

＝履修の条件と学習の方法＝

受講以前の予備知識は不要。参考資料は第1回講義にて提示する。必須ではないが、音声生理学を履修していることが望ましい。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認
- 2回 声の健康1：声の衛生
- 3回 声の健康2：音声治療
- 4回 声の健康3：温度と湿度
- 5回 声の健康4：酒と薬
- 6回 声の健康5：タバコと煙
- 7回 病気と声1：健康状態に必要な栄養摂取
- 8回 病気と声2：病気回復に必要な栄養摂取
- 9回 病気と声3：カゼの成り立ち
- 10回 病気と声4：カゼの治療
- 11回 病気と声5：声帯ポリープ
- 12回 病気と声6：喉頭麻痺（声の濫用）
- 13回 病気と声7：聴覚障害
- 14回 病気と声8：心理的障害（過緊張）
- 15回 レポート回答例説明 まとめ

＝成績評価の方法と評価の基準＝

レポートによる。
課題は第1回講義に提示する。「知識」「経験」「独自の視点」の記述が必要。

＝テキスト（必携）＝

特になし